

# 【R1】アンケートの実施 @前橋けやき並木ストリートフェス

## 《概要》

- 「けやき並木ストリートフェス」において、まちなかの道路の使い方に関するアンケート調査を実施

【実施日】令和元年9月8日（日）  
【時間】11:00～16:00  
【天候】晴れ

### けやき並木ストリートフェスとは…

- けやき並木通り（主要地方道前橋停車場線）の片側3車線通行止で開催するイベント
- 次世代モビリティ等の公共交通利用促進と、けやき並木通り周辺の賑わいづくりを目的に実施
- 飲食ブース、休憩スペース・人工芝、演奏・パフォーマンス、スケートパークなど、道路上で多様なプログラムを展開

### 《アンケート実施目的》

- 通行止空間は、車両・歩行者通行以外の使い方（飲食・休憩・娯楽等）が体感でき、道路空間の使い方を考えてもらう好機
- そこで、来場者に道路空間活用の可能性（将来像）を提示しながらアンケートを実施
- 今後の道路空間の活用可能性を考えるための参考として、広く県民意見を集める



# 前橋におけるアンケートの実施

## 《アンケート結果》

まちなかの道路の使い方として求めるもの  
(複数回答可)



## 《回答理由》

- ・ 車よりも飲食施設に使う方が、まちが活性化しそう
- ・ 人を集めるには飲食が一番
- ・ 車が使えなくても、歩いて用が足りる生活ならその方がいい (大手町在住)
- ・ 車ばかりで休む場所がないから
- ・ 駐車場が少ない
- ・ 街路灯だと足元が暗く、歩きやすいあかりが欲しい
- ・ 五差路の渋滞があるので、もっと車が通過できるようにして欲しい

## 《今回の取組によってわかったこと》

- ・ まちなかの道路に対する県民ニーズのおおまかな傾向
- ・ 民間の善意でイベントを実施するには、年数回の実施が限界。規模拡大は負担増。



- ・ **民間の個別取組に任せているだけでは、イベント地獄で終わる**
- ・ 一過性の集客イベントで終わらせず、まちなか集客効果を連続させていくには、その先のステップや**まちづくりの将来像を関係者間で共有し調整する主体** (行政関与orマネジメント会社育成) **が必要**

### 【ソフト面】

- ・ **屋外で飲食を楽しみたい声** が大きい
- ・ **行政で整備できないため、官民の連携が必要**

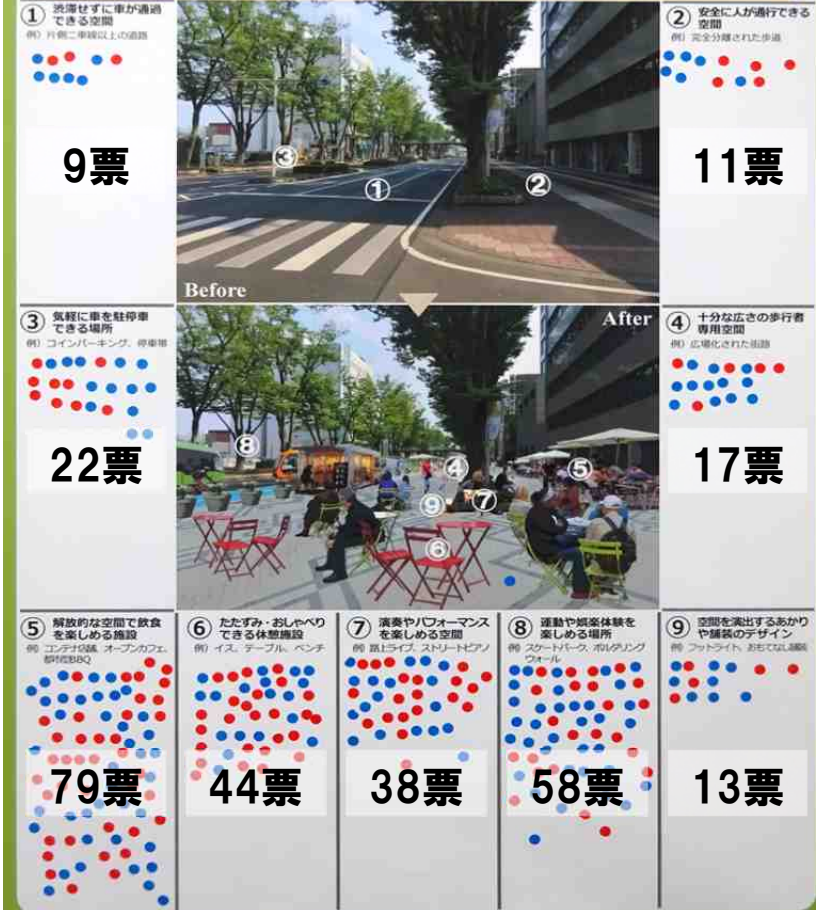
### 【ハード面】

- ・ まちなかに、**休憩施設や滞在を楽しめる空間づくり**が求められている
- ・ まちなかを歩きたくする (回遊を促す) には、**フットライトなどの照明整備**が不足
- ・ **五差路の渋滞対策**を望む声も一定数ある

## まちなかの道路に足りないものは？

賑わいを生む取組として、車中心の道路から人中心の歩きたくなる道路への転換を目指す動きが広まっています。まちなかの道路のあり方について考える参考として、みなさんの意見をお聞かせください。

まちなかの道路の使い方として求めるものにシールを貼ってください (複数可)



群馬県庁官民連携まちづくりプロジェクトチーム

アンケートボード (男性：青、女性：赤)